

保険・年金 フォーカス

「ねんきん定期便」はライフプラン設計に役立つか？

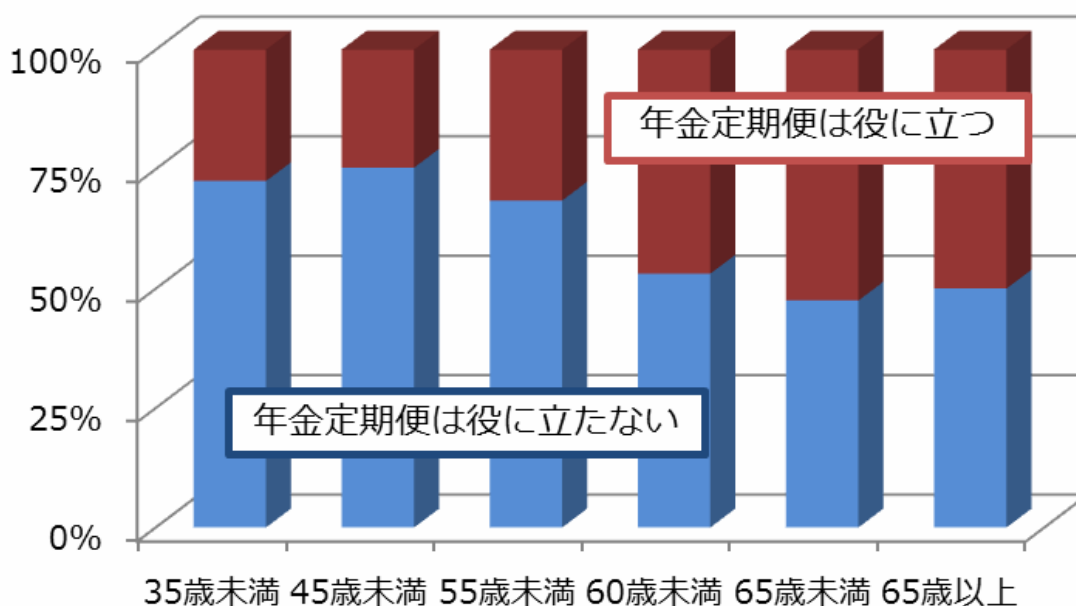
金融研究部 主任研究員 北村 智紀
(03)3512-1854 kitamura@nli-research.co.jp

保険研究部 主任研究員 中嶋 邦夫
(03)3512-1859 nakasima@nli-research.co.jp

「ねんきん定期便」は、日本年金機構から公的年金の加入者全員に誕生日月に送られてくるハガキだ。これまでの公的年金の加入記録や年金の見込額などが書かれている。退職後の生活は年金が主な収入源となる人も多く、年金は多くの人に関心がある問題だろう。ましては自分の年金がどのようになるか書かれており、老後がどのくらい楽しく暮らせるかを占う重要な書類のはずだ。

経済関連の雑誌やWEBなどで年金額のシミュレーションをよく目にするが、ねんきん定期便に書かれている見込額は、自分の加入記録、つまり自分の給与に基づいた予測額であるため利用価値は高い。しかし、筆者等が「ねんきん定期便はライフプラン設計に役に立つか？」と1,600人にアンケートしたところ、全体で見ると約6割強の人が「役に立たない」と回答した。

図表1：「ねんきん定期便」はライフプラン設計に役に立つか？ - 年齢別



図表1はアンケート結果を年代別に見たのである。45歳未満の7割以上がライフプラン設計に「役に立たない」としている。一方、60歳以上の約半分程度の人には「役に立つ(はずだ)」としており、実際に年金生活をしている人は、その重要性に気が付いている。

現在の「ねんきん定期便」では、50歳以上の人では年金の見込額が記載されているが、50歳未満の人では「これまでの加入実績に基づいた年金額」が示されている。これは、これまでに支払った保険料だけに基づき、将来は全く保険料を支払わないと考えて計算した見込額である。そのため少し現実離れしたものであり、これではライフプランに使えないと考えるのも仕方ない。

「ねんきん定期便」の欠点を補うために、50歳未満の人でもインターネット上で年金見込額が計算できる「ねんきんネット」がある。自分の加入記録に加えて、将来の働き方を様々なシミュレーションしながら年金見込額を計算できる優れたものだ。基礎年金番号と「ねんきん定期便」にある“アクセスキー”で利用できる。

図表2は人生の満足度別に「ねんきん定期便がライフプラン設計に役立つか？」を尋ねた結果である。人生満足度のどの区分も残念ながら「役に立たない」が過半数であるが、人生満足度が高い人ほど相対的に「役に立つ」としている人は多い。

誰もが満足する人生を送りたいと考えているはずだ。行き当たりあたりばったりで生きるよりも、将来を見据えたプランを立てる方が人生の満足度を高める効果があるというのは納得感がある。「ねんきん定期便」はライフプラン設計に即座に役立つものではないかもしれないが、老後を考えるヒントにはなるはずだ。人生の満足度を高めるために、「ねんきん定期便」の見方をおさらいしてみるというはどうだろうか。

図表2：「ねんきん定期便」はライフプラン設計に役に立つか？ - 人生満足度別

